

「広島県DX加速プラン（素案）」に関するパブリックコメントにおける意見への対応について

令和4年12月1日

デジタルトランスフォーメーション推進チーム

1 実施期間と結果

- (1) 意見募集の期間：令和4年9月28日（水）～令和4年10月28日（金）
- (2) 募集方法：広島県ホームページ及び各総務事務所(支所)等での閲覧
- (3) 意見の件数：13件（5人）

2 意見の概要と対応

No	意見（概要）	意見への対応	関連するページ
柱1 デジタル投資の促進	I T企業がDX導入の伴走役を担い、更には、長期事業計画作成に携わる必要があると思う。まずは、I T企業とのマッチングが必要であると考えます。	本県では、例えば、ひろしまサンドボックスにおいて、県内外から業種業態を超えて集まってきた企業や人材が共創でイノベーションを起こす場として、地元企業とI T企業とのマッチングなどに取り組んでおります。 今後のご意見のとおり、I T企業とのマッチングが必要と考えており、引き続き取り組んでまいります。	9
	中小企業者等のDXを加速させるためには、業務改善のためのクラウドシステムツールを浸透させることが必要ではないでしょうか。県内で最適なデジタルツールがメジャーとなり活用され、地元が発展しますよう期待をしています。	ご意見のとおり、クラウドシステムツールなど実践が容易なデジタルサービスの導入が必要であると考えており、そのようなデジタルサービスについての活用事例の紹介など、徹底的に横展開を進めることにより、DXの推進を図ってまいります。	5, 9, 10
	県内産業のデジタル化（DX）の推進を加速させるためには、広島県等の施策（補助事業）の獲得を積極的に支援することが重要。	県内の民間事業者等が最適な支援策を選択し、効果的に活用できるよう、補助・助成等について、県のホームページ等で広く周知しております。 国等の関係機関においても、県内の民間事業者等が活用できる施策（補助金・交付金、税制優遇措置等）を展開しているところであり、これらを含めて積極的に活用して頂けるよう、より一層の周知に取り組んでまいります。	9, 別冊9

柱 2 人材の確保・育成の促進	人材の確保・育成の促進は県の都市部のみ留まり、県全体の取組にならないことを危惧することから、「人材の確保・育成の促進」について、関連講座の受講人数の数値目標を立ててほしい。また、講座に参加する人が現地参加という選択肢だけではなく、オンライン受講可能な環境を整えてほしい。	D Xの考え方・基礎的知識を学ぶ研修の実施，リスキリングを推進する企業への支援，離転職者向けの職業訓練，県内大学等の教育機関での人材育成など，人材の確保・育成の促進に関係する取組について，事業ごとに目標を設定し取り組んでいるところであり，引き続き目標達成に向けて継続的に取り組んでまいります。また，受講しやすい環境整備について関係機関と連携しながら取り組んでまいります。	11
	ビジョンの視点の一つの「経済成長と人口減少社会の課題解決を目指す「D X」を推進する人材」であり、この人材をあらゆる階層を対象として、今後のデジタル時代に必要なスキルを戦略的かつ長期的に育成する仕組みが必要。 特に、全国的にも先進的な取組みである広島県リスキリング推進検討協議会ではリスキリングが検討されており、今後大きな課題となる労働移動職場内・職場外、産業間、リプレイスや多様な働き方等をオール広島で解決する広島方式が仕組みをつくる必要がある。	プランで定義しておりますD Xの推進に必要な人材は、ご指摘の「経済成長と人口減少社会の課題解消を目指すD Xの推進」に欠かせない人材でもありと考えております。 特に、広島県リスキリング推進検討協議会等を通じ、事業者の実情やニーズ等を把握しながら、産学官で連携し、D X推進等に必要なスキルや円滑な労働移動の実現に向けた対応策を検討してまいります。	10
	広島県リスキリング推進検討協議会が検討している「スキル標準」の修得をはじめデジタル技術の要諦を理解し、市場・顧客のニーズや課題を把握して、新たなビジネスやサービスを発想し、関係者と協力・調整して企画・実践・評価して、これまでの仕組み・組織・経済社会をD X変革する人材を各主催機関が連携して、体系的かつ長期的な視点で育成することが必要。	D Xを推進するためには、業務とデジタル技術を理解し、変革を企画して実行できる能力を有する人材を育成することが重要だと考えており、各関係機関と連携し計画的な人材育成等を図ってまいります。	10, 11
	I Tパスポート等の取得者など、一定のデジタル・スキルを修得したデジタル人材を登録して、無料職業紹介機関の会議所等の会員企業等の求人情報(ほしいデジタルスキルの持った人材)と照らし合わせて、マッチングを行うスキームが期待される。	今後の事業検討にあたっての参考にさせていただきます。	11

柱 2 人材の確保・育成の促進	広島県の最大の課題は「転出超過」。様々な理由がある中で、広島県は求人と求職のミスマッチや若者にとって魅力的な仕事が少ないことが理由の一つ。魅力的な仕事の一つがデジタル技術を使った仕事であり、若者にとって魅力的な仕事に就くためのスキルアップが重要な課題。	産業DXやイノベーションの原動力となる情報系の人材の県外への流出防止及び県内企業等への定着促進を図るため、既存の制度を拡充し、県内就職を返還免除の要件とする新たな奨学金制度を設けました。今後は、産学官連携による協議会において、地元企業への就職支援に繋がる施策を検討してまいります。	11
	AIやネットワーク等が職場に導入されれば、単純作業の職種を中心にAIやロボット・システムに代替が進み、現在の雇用を維持したまま、労働生産性を上げるためには組織内や産業間の「労働移動」は喫緊の課題。 このように、リスキリングのスキル提示からDX人材の育成、人材の登録とマッチングを通じた労働移動まで一貫した政策が期待される。その際、労働局の労働移動支援助成金事業を活用することも要検討。	ITパスポートの取得支援などを通じて、県内の民間事業者のデジタルリテラシーの向上を図るとともに、広島県リスキリング推進検討協議会等を通じ、事業者の実情やニーズ等を把握しながら、産学官で連携し、円滑な労働移動の実現に向けた対応策を検討してまいります。	11
	ひろしま産業振興機構カーテクノロジー革新センターでは、「EV研究プロジェクト」を実施している。これに加えて、デジタル技術を使って、自動車とソフトウェアがコネクテッドした様々サービスを創出する「人材」の育成も必要。	頂いたご意見のとおり、自動車関連産業は大変革期にあり、今後必要となるCASE※に関わる新たな技術開発領域への対応が必要となるため、現在、ひろしま産業振興機構のカーテクノロジー革新センターにおいて、コネクテッドに関連するデジタル系の基礎研修や新技術トライアル・ラボにおける実験研究を通して、デジタル人材の育成に取り組んでいるところです。今後もこれらの取組みを推進してまいります。 ※Connected, Autonomous, Shared, Electric	—
	ビジョンではカーボンニュートラル関連の環境・エネルギー等を新成長産業と位置づけているが、加えて防災産業や宇宙利用サービス産業（衛星情報利用）を新たな「成長産業」として捉え、支援することが重要 環境・エネルギー、防災産業、宇宙情報利用サービスは、デジタルやDXとの親和性が高く、それを推進する人材育成が必要。	例えば、環境・エネルギー分野においては、産学官による「広島県カーボン・サーキュラー・エコノミー推進協議会」の創設や推進構想の策定など、全国に先駆けたカーボンリサイクルに取り組んでおります。今後もこれらの新成長産業の成長に向けて、業務とデジタル技術の双方を理解し、変革を企画して実行できる人材の育成・確保を図ってまいります。	—

<p>柱 2 人材の確保・育成の促進</p>	<p>教育のDXに関しては、目標をもっと高くしてほしい。特に小中学校での主なKPIである「児童生徒同士がやりとりする場面でICT機器を活用している学校の割合」をなぜ5年という期間でも100%を目標にできないのか。</p> <p>「人材の確保・育成の促進」の観点からの義務教育の段階から社会で使われているようにICTを使った活動をしていかなければ、Society5.0と言われる社会を生きる子供たちに必要な資質・能力を身につけさせることは出来ないのではないかと。大人側が学習出来ないことを理由に、子供たちに必要な学習機会を提供しないのはあってはならないと思われる。</p>	<p>「児童生徒同士がやり取りをする場面でICT機器を活用する学校の割合」については、教員のデジタル機器の活用スキルの向上を図ることによって、授業においてもデジタル機器が効果的に活用される場面が増えていくものであり、最終的な目標値は100%としつつ、その途中経過として、令和7年度時点での目標値を80%と設定しております。できる限り早期に目標達成ができるよう、研修等の内容の充実を図るなど、取組を進めます。</p> <p>また、ご指摘の「大人側の学習」についてですが、県としましては、各学校の課題に応じた研修に加えて、今年度から教員のデジタル機器の活用スキルの習得段階に応じた研修を新たに実施しており、教員のスキル上昇に取り組んでいるところです。</p>	<p>別冊5</p>
<p>その他</p>	<p>コンピュータなど、画面の見過ぎは、精神までもむしばむ傾向があるのでは？と感じることも多々ございます。社会性という視点から、今一度、長所と短所を洗い出して検証してみる良い時期だと思っております。</p>	<p>デジタル技術を活用したDXの潮流は、産業構造や働き方・暮らし方等に大きな変革をもたらし、社会をより便利で快適なものにする大きな可能性を秘めています。一方で、ネット依存の危険性をはじめとした心身の健康に影響を指摘されているところ、その様なご意見も踏まえつつ取り組んでまいります。</p>	<p>—</p>